

第1学年4組 英語科学習指導案

令和6年12月5日(木)  
指導者 與田 智恵子

1 単元 PROGRAM 7 Research on Australia (Sunshine English Course 1)

2 目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
[知識] ○ there is/are と疑問詞 howの意味や働きを理解できる。 [技能] ○ there is/are と疑問詞 howの意味や働きの理解を基に、聞く能力・書く能力を身に付ける。	○ 相手の話を聞いて、自分の知らない場所やものなどについて、その様子を聞き取ることができる。 ○ 延岡市や土々呂中学校近辺にあるものや場所などについて説明する文章を書くことができる。	○ 相手の話を聞いて、自分の知らない場所やものなどについて、その様子を聞き取ろうとする。 ○ 延岡市や土々呂中学校近辺にあるものや場所などについて説明する文章を書こうとする。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の内容「There + be動詞+～」、および「疑問詞で始まるもの」を扱っている。  
教科書の「Think」は、オーストラリアの世界遺産やクリスマスのことについての話題である。日本とは違う自然や動物、季節について書かれた文を読み取ることをとおして、異文化への興味・関心を高めることができる内容である。  
言語材料としては、there is/are と疑問詞howの用法を学習する。There is/areを応用できるようになれば、初めて話題にするものの存在を伝えたりたずねたりできるようになる。また疑問詞howの用法を習得できれば、手段や様子をたずねることができるようになる。これらを応用できるようになれば、自分や身の回りのことについての表現の幅が大きく広がる点で意義がある。
- 本学級はペア学習を中心としたオールイングリッシュの授業を行っている。10月初旬までは「聞くこと」「話すこと」「読むこと」に取り組みせ、「書くこと」はアルファベット、ローマ字、簡単な並べ替え程度までとしていた。正確に英文を書いたり、自分の考えを正しく書いたりすることについては、10月中旬頃から始めたため、綴りにミスがあったり、ピリオドやコンマなどを書き忘れるようなことがある。文法に関しては、これまでの学習で「主語(Subjects)+動詞(Verbs)」を意識させながら英文を話したり書いたりさせてきた。そのため、「私の部屋(主語)には椅子が二つあります」を英訳する場合、My room has two chairs. というフレーズは容易に出てくると思われる。しかし、There are two chairs in my room. というフレーズは S+Vを徹底して練習してきた生徒達にとっては、これまでと少し違った表現となるため戸惑うことが予想される。また、疑問詞howに関しては帯活動で自然に使わせたり、他の疑問詞(where, when, whoなど)と一緒に働きや用法を学習しているので、本単元では特別に時間をかけて学習する必要はない。
- そこで、本単元の指導にあたっては、以下の指導方針を設定し、英語学習に対してさらなる意欲を高めながら、確かな学力の向上を目指したい。
  - ・ ペアでの会話活動や、表現の確認を活発に行いながら、アウトプットの機会を多く設定し、基礎・基本の定着を図る。
  - ・ 「話せる」から「書ける」ということを徹底させるために、表現活動やワークシートの内容を工夫し、正確に書くことができる手立てを図る。
  - ・ 絵や写真などを示しながら、パターンプラクティスを多く行い、My room has two chairs. と There are two chairs in my room. が同じことを伝える表現であることと、There is/are構文が特別な形(倒置)であることを理解させる。

4 指導・評価計画(全7時間) ◎記録に残すための評価(評価方法)

指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	時間
Scenes(基本文定着)				2(本時1/2)
基本文のまとめ	◎there is/areとhowの理解(小テスト)	◎聞き取り(小テスト)		1
Think				2
Interact		◎書くこと(手紙)	◎書くこと(手紙)	1
単元の振り返り				1

5 本時の目標

- there is/are の意味や働きを理解できる。(知識及び技能)

